

Sound One Recorder 仕様		Ver.5.0 更新日 : 2025/9/25	
対応機種、対応OS			
	対応機種	iPhone XR、11、12、13、14、15、16、SE2、SE3	
	対応OS	iOS17、18 (iOS26は動作検証中)	
Sound One アカウント連携			
	連携に必要な情報	メールアドレス、アクセスキー (Webアプリから取得)	
収録機能			
	収録 (共通)	サンプリング周波数 量子化ビット数 マイクロホン 最大チャンネル数 位置情報 (GPS) 加速度 セルフタイマー アライメントガイド	48000 Hz 16 bit 端末内蔵マイク、外部接続マイク (有線接続のみ対応) 2 チャンネル (使用するマイクに依存) 移動軌跡と速度を記録、収録開始地点を記録 Gフォース (X, Z方向) スタート: OFF、10 s、20 s、30 s、1 min ストップ: OFF、10 s、20 s、30 s、1 min、5 min、10 min ピッチ、ロール
	収録 (音声)	最大収録時間 コーデック ファイル形式	30 分 Linear PCM (非圧縮) WAVEファイル (.wav)
	収録 (動画)	最大収録時間 フレームレート ズーム コーデック ファイル形式 オートフォーカス 自動露出調整 手ぶれ補正	10 分 1、5、10、20、30 fps (機種により制限あり) 0.5~10 倍 (0.5 倍は広角カメラ搭載機種のみ対応) ビデオ: H.264、オーディオ: Linear PCM (非圧縮) MOVファイル (.mov) 可 可 可
	設定項目	校正值 校正単位 0dB基準値 収録時画面スリープ 低負荷モード 設定初期化	任意 (下マイク、背面マイク、前面マイク、外部接続センサーそれぞれで値を保持) Pa/FS、EU/FS 任意 スリープする / しないを選択可 可 (モニター非表示) 可
	時間軸波形表示	時間軸波形 振幅拡大率 RMS (実効値)	4 秒分表示 (1024点ごとの間引き表示) 1~10 倍 40960 点毎 (時定数なし)
	FFT解析表示	表示周波数範囲 フレーム長 窓関数 グラフ表示	0 Hz~10000 Hz 4096 点 (周波数分解能: 11.71875 Hz) Hanning 周波数軸: リニア、ログ スペクトルレベル軸: ログ (0.0001~10000)、dB (-20~140 dB) カーソル種類: ピークカーソル、サーチカーソル ピーク周波数表示 サーチエンハンス (分解能 約200倍) 時間重み表示
再生機能			
	再生	再生、停止、再生位置変更 (カーソル移動、5秒戻る、5秒進む、最初から)、GPS移動軌跡表示	
	ファイル情報	校正值 (編集可)、0dB基準値 (編集可)、センサー名、手ぶれ補正ON/OFF、収録場所を地図上に表示、収録アプリVer.	
	時間軸波形表示	収録機能と同じ	
	FFT解析表示	平均結果表示 ピーク保持表示 その他は収録機能と同じ	データ全体 (オーバーラップ 75 %) データ全体 (オーバーラップ 75 %)
	キャリブレーション	指定センサーに測定値と目標値から計算された校正值を適用	
	Sound One連携 (※)	Sound Oneにファイルをアップロード (すべてのネットワーク、Wi-Fi接続時のみアップロード)	
	ファイル共有 (※)	AirDrop、他のアプリへの共有、ファイルストレージへの保存	
	音声出力	内蔵スピーカーのみ (イヤホン、Bluetooth出力非対応)	
	※Sound Oneアカウントと連携すると使用できます。		
ファイルリスト			
	表示項目	ファイル名、録音時間、ファイル容量、収録場所の住所	
	ファイル操作	ファイル名変更、ファイル削除	
	Sound One連携 (※)	再生機能と同じ	
	ファイル共有 (※)	再生機能と同じ	
	※Sound Oneアカウントと連携すると使用できます。		